

議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

田淵 厚 議員

防災行政無線更新

◎ 経費の詳細は、また、戸別受信機やアンテナの選定は。

▲ 防災行政無線システム長寿命化改修工事8,000万円、戸別受信機購入471万円、戸別受信機取付け、受信確認委託料408万円、屋外子局の182万円等です。防災行政無線システムの本体と同じメーカーの受信機であることが必要です。現在設置している事業者の機器での随意契約を予定しています。



田淵 厚 議員

災害時の備え

◎ 経費の詳細は、機器の保守点検を含めた管理をどうするのか。

▲ 避難所用マット等の消耗品購入63万円、避難所へのケーブルテレビの配線工事費73万円、避難所用スポットクーラー、工場扇、テレビ、災害時に使用するスマートフォン購入費256万円、通信料36万円です。点検管理については施設の管理者と協議し、修理が必要な場合については防災安全課で対応します。



平間 智治 議員

空家対策

◎ 空屋対策の主な内容は。

▲ 令和元年5月から実施している一部が空屋となっている長屋の空き住戸が特定空屋等と同等程度と認められる場合、除却に要する経費に対し4/5上限80万円の補助を2件分。不良住宅に該当する空き屋の除却に対する経費に対し4/5上限200万円の3件分。特定空屋の解体工事費として2件分相当500万円、その他空屋等対策協議会の会議費等の事務費を計上しています。



野北 悟 議員

企業誘致事業

◎ 今年は何を。

▲ 市所有の工業団地が完売しましたが、民間が所有する遊休地や居抜き物件等への誘致を行っていききたい。佐賀県企業立地課や首都圏事務所と連携して情報を収集し、これまでつながりを作った企業なども対象に活動し、また、すでに誘致した企業と佐賀公共職業安定所、産業技術学院、多久高校、県の企業立地課、商工会で構成した多久市産業連絡協議会を年2回開催しており5月末までに多久市版の求人情報誌を作って市内の高校やハローワークなどに配布予定です。



野北 悟 議員

街なか元気プロジェクト

◎ 課題と財源についての考えは。

▲ 多久市まちづくり協議会を始め、様々な団体と一緒に知恵や発想を出し合い、お互いのスキルアップや信頼関係を築き適切な役割分担により活動を推進するため、特に、まちづくりマネージャーと綿密な関係が必要だと考えています。財源の確保について、地方創生交付金については年々ハードルが高くなり要項の条件をクリアすることが難しいですが、研究を深め活用できる補助金など検討していきます。



野北 悟 議員

学力向上

◎ 教育研究委託は内容を見直すべきでは。

▲ 議員ご指摘のように、費用の多くが印刷製本費になっている現状があります。ご提案のように、「今年度はICTを活用して研究成果データを共有し印刷製本費を削減しながら研究の充実に努めていきます」。今後、事業の目的をさらに焦点化するためにその年その年の課題を見いだしながら研究に反映できるよう教育委員会としても指導を続けていきます。



野北 悟 議員

職員研修

◎ 人材育成に必要な職員研修費をなぜ減額するのか。

▲ 関東関西方面の研修については、派遣の調整が難しく予算枠を十分に使い切れていません。また、佐賀県市町村振興協会が行う職員研修の内容が充実してきており、こちらを積極的に活用させていただいている。自治大学校への派遣についても令和2年度は1名としていますが、工夫をしながら努力します。



野北 悟 議員

空家対策

◎ 円滑な事業推進のために体制を見直すべき。

▲ 現在、総合政策課で所管し庁内に空家等対策検討委員会を組織して関係課と連携を図りながら対応する体制ですが、所管をすると、ほぼそこで業務を行ってしまっている状況があると思います。専門的な部分については担当課と協議しながら行っていますが、各担当課に専任を置いているわけではありませんので体制を強化する意味でも検討します。



野北 悟 議員

地域おこし

◎ 隊員の定着とサポート体制は。

▲ 現在の隊員は3年間の実績として女山大根の作付農家が倍に増えるなど非常にありがたい実績を残していただいた。要因として地域団体とのコミュニケーションやご理解、隊員の熱意があり、定着に関しては非常に大切な事と考えています。活動予算については公費であり一定の制約はありますが、可能な限り隊員の考える活動が出来るような対応に努めていきます。



古賀 公彦 議員

ふるさと応援寄附に要する経費

◎ ふるさと応援寄附の経費と、どのような寄附募集のウェブサイトを利用しているのか。

▲ 寄附への返礼品代金と送料の報償費、発送業務等の委託料、寄附を募集するポータルサイト使用料、決済手数料、通信運搬費と印刷製本費等です。寄附募集のポータルサイトは、ふるさとチョイス、楽天、さとふる、ふるなびの4つで、受け入れ額が最も大きなサイトがふるさとチョイスで、寄附全体の65%です。



古賀 公彦 議員

ごみ処理場周辺整備

◎ 地元建設委員会への報償費、一般消耗品需用費ですが、実施設計委託料の内訳は、どのようになっているのか。

▲ 2つの委託料で構成をされております。1つ目は、山犬原区内の雨水排水対策工事に係る実施設計委託料300万円で、2つ目がスポーツ・レクリエーション施設整備の実実施設計委託料6,180万円です。



鷺崎 義彦 議員

未収金管理回収業務

◎ 業務の内容、弁護士法人等への委託理由、成果見込みは。

▲ 非強制徴収債権が滞納となり一定期間を経過した場合に電話及び文書での督促、債権回収の期日管理、住民票等の調査、月次報告の記録を行う業務です。国による公債権の債権回収業務手引作成、民間への委託範囲の整理等がされたので、弁護士等へ委託するものです。過年度未収金の回収、未回収の場合でもその債権を保持し続けるか否かの判断が可能になり非強制徴収債権の統一した管理に寄与します。

